

From たんぽぽ舎
To kumamoto84@yahoo.co.jp
受信日時 2023/04/10 月曜日 19:38

たんぽぽ舎です。【TMM:No4740】地震と原発事故情報-3つの情報をお知らせします

たんぽぽ舎です。【TMM:No4740】
2023年4月10日(月)地震と原発事故情報-
3つの情報をお知らせします
転送歓迎

- ★ 1. トリチウム汚染水の海洋放出に周辺諸国から懸念の声が高まっている
国は希釈によって排出濃度を基準値以下にすると弁明している
海洋汚染にとって重要なのは総排出量であり、希釈して濃度を
低めても何の意味もない
海への放出は、陸での経済活動のつけを海に押し付けるもの
トリチウム汚染水の海洋放出は、弱者へのつけの押し付けであり、
原発と同根
根本原因への取組みをおろそかにする対症療法は、むしろ施さない
ほうがいい
権利に基づく闘い 連載その35
熊本一規 (明治学院大学名誉教授)
- ★ 2. 「あきれ果てても諦めない」、東京高裁の不当判決に怒りの抗議！
福島原発刑事訴訟支援団ニュース『青空』第16号を発行
福島原発刑事訴訟支援団
- ★ 3. 新聞より4つ
 - ◆ドイツの脱原発15日に完了 残る3基停止、最終処分場課題
(4月10日「共同通信」より抜粋)
 - ◆れいわ・山本太郎代表「原発にすぎな」
電気料金の高騰分は「国が肩代わりを」鹿児島市で演説
(4月8日「南日本新聞」より抜粋)
 - ◆朝日川柳 西木空人選
・独裁と閣議決定 一卵性 ほか
 - ◆【素粒子】より7つ
・流されるままに、きな臭さが増してゆく。
ついに、よその国の軍隊を支援する国になる。 ほか

※4/13(木)自主上映会にご参加を！
『アイたちの学校』 高賛侑監督

日 時：4月13日(木)19時より21時 18時30分開場
会 場：「スペースたんぽぽ」
『ワタシタチハニンゲンダ！』の高賛侑監督が、
ウリハッキョ(私たちの学校)差別との闘いの真実を浮き彫りにする。
参加費：1000円 予約受付中 定員30名

たんぽぽ舎 電話 03-3238-9035 か「ヤフーメール」
<tanpopo3238@yahoo.co.jp> 宛てに、氏名と電話番号を
お知らせ下さい。受付番号をお伝えいたします。

※4/21(金)第23回「原発いらない！金曜行動」(首相官邸前)
福島第一原発の汚染水を海へ流すな！ 老朽原発うごかすな！
東海第二原発再稼働するな！ 定例：毎月第3金曜日

日 時：4月21日(金)18時30分より19時45分
場 所：首相官邸前
主 催：「原発いらない金曜行動」実行委員会
今回は、第24回5月26日(金)です。

※4/22(土)山崎ゼミにご参加を！
「原発政策大転換をもたらすGX法『脱炭素社会の実現に
向けた電気供給体制の確立を図るための電気事業法等の
一部を改正する法律案』の正体は」...続編

お 話：山崎久隆（たんぼ舎共同代表）
日 時：4月22日(土)14時より17時
会 場：「スペースたんぼ」
参加費：800円 ◇予約は必要ありません。

※4/25(火)学習会にご参加を！

『老朽化と安全工学』...原発をやめるべきこれだけの理由

お 話：後藤政志さん（元東芝、原子炉格納容器設計者）
日 時：4月25日(火)18時より21時 講師のお話は19時より
会 場：「スペースたんぼ」
参加費：800円
◇予約受付中 4/13と同じ方法です

※5/6(土)4回連続講座『敗戦後日本と在日朝鮮人 植民地主義を問う』

最終回「=関係性=」

「祖国(朝鮮)と異国(日本)との絶えざる関係を生きる存在」

お 話：高 演義さん（フランス文学者）
日 時：5月6日(土)14時より16時 13時30分開場
会 場：「スペースたんぼ」
参加費：800円
◇予約受付中 4/13と同じ方法です

□

□ 1. トリチウム汚染水の海洋放出に周辺諸国から懸念の声が高まっている

- | 国は希釈によって排出濃度を基準値以下にすると弁明している
- | 海洋汚染にとって重要なのは総排出量であり、希釈して濃度を
- | 低めても何の意味もない
- | 海への放出は、陸での経済活動のつけを海に押し付けるもの
- | トリチウム汚染水の海洋放出は、弱者へのつけの押し付けであり、
- | 原発と同根
- | 根本原因への取組みをおろそかにする対症療法は、むしろ施さない
- | ほうがいい
- | 権利に基づく闘い 連載その35

└── 熊本一規（明治学院大学名誉教授）

トリチウム汚染水の海洋放出の予定時期（今年春から夏頃）が近づき、韓国や太平洋諸島からの懸念の声が高まっていますが、4月6日に、韓国民主党議員団に報告する機会を得ましたので、以下、その概要を紹介します。

◎ 国は、トリチウム汚染水の海洋放出について、排出前に海水で希釈し、告示濃度限度をクリアするから大丈夫と主張しています。

告示濃度限度とは、告示によって人体被害の観点から決められている原発の規制基準で、原発から放射性物質が環境中に放出される際の濃度の限度のことです。

告示濃度限度は、「年間被ばく線量1ミリシーベルト(mSv/年)」を基準に決められており、「水中における告示濃度限度」は、放出口における濃度の水を生まれてから70歳になるまで毎日約2リットル飲み続けた場合に、平均の線量率が1mSv/年に達する濃度にあたります。

◎ しかし、告示濃度限度による規制は人体被害に関する規制であって、環境汚染に関する規制ではありません。

海洋(環境)汚染にとって重要なのは排出時の濃度ではなく総排出量です。

告示濃度限度による規制では放出前に希釈することで基準をクリアできますが、希釈しても総排出量は変わりません。

そもそも海に放出されれば希釈されるのですから、放出前の希釈には、何の意味もありません。

◎ そんな無意味な行為で弁明していること自体、トリチウム汚染水の海洋放出が問題ある行為であることを物語っています。

安易に海洋に放出し続けると海洋に蓄積し、マイクロプラスチック以上の大問題になることは必至です。

◎ 私のごみ問題に関わるきっかけになったのは、1981年のフェニックス計画（廃棄物及び残土で「ごみの島」を造るという計画）でした。

そんな計画を実施する前にリサイクルを促進すべきという考えから、

反対運動に取り組みました。

結局、「ごみの島」は造られました。反対運動は、その後の循環型社会づくりに貢献したと思います。

◎ トリチウム汚染水の海洋放出も、安易に認めてしまうと、その根本原因である「原発の推進」を認めてしまうことになると思います。

解熱剤の服用がウィルスとの闘いを不利にするように、症状を緩和するだけの対策をとっていると、根本原因は治らないばかりか、どんどんひどくなります。

根本原因への取り組みをおろそかにするような対症療法は、むしろ施さないほうが良いと思います。

◎ 海への放出は、陸での経済活動のつげを海に押し付けるものです。

原発は、放射性廃棄物の処理を将来の世代に押し付けますから、経済活動のつげを子孫に押し付けるものです。

空間的に押し付けるか、時間的に押し付けるか、の違いはあっても、つげを発言権の無い弱者に押し付ける点で同根です。

つげを弱者に押し付けるのではなく、つげを必要としない経済活動に改めることを追求すべきだと思います。

注1：4月6日報告のレジュメ、参考資料等は、筆者のホームページ <http://kumamoto84.net> に掲載しています。

-
- 2. 「あきれ果てても諦めない」、東京高裁の不当判決に怒りの抗議！
 - | 福島原発刑事訴訟支援団ニュース『青空』第16号を発行
 - └── 福島原発刑事訴訟支援団

福島原発刑事訴訟支援団 会員・支援者の皆さま
日々のご活動に敬意を表します。

支援団ニュース『青空』第16号を発行しました。
以下のURLをご参照下さい。

<https://shien-dan.org/news-letter-no016/>

内容は大きく分けて、4項目です。

1. 「あきれ果てても諦めない」、東京高裁の不当判決に怒りの抗議！
最高裁へ！指定弁護士が上告、公正な裁判を！！
 - ・佐藤和良団長 巻頭言
2. 高裁判決 みんなの想い
 - ・東京高裁控訴審の不当判決を受けて15人のメッセージ
3. 比較して見る東電刑事裁判控訴審判決の誤り
 - ・昨年2月12日に郡山市で開催された「最高裁へ！東電刑事裁判控訴審判決 報告集会」での海渡雄一弁護士と大河陽子弁護士による裁判報告等をもとに再構成
4. 事務局からのお知らせとお願い

問い合わせ先：福島原発刑事訴訟支援団
福島県田村市船引町芦沢字小倉140-1
<https://shien-dan.org/>
メール info@shien-dan.org

-
- 3. 新聞より4つ

◆ドイツの脱原発15日に完了 残る3基停止、最終処分場課題

【ベルリン共同】東京電力福島第一原発事故を受け脱原発を決めたドイツで15日、残る3基の原発が停止し脱原発が完了する。

2022年末の予定だったが、ロシアのウクライナ侵攻の影響で先送りしていた。

既に停止した原発の廃炉が段階的に進められているが、高レベル放射性廃棄物の最終処分場の選定が進んでおらず将来に大きな課題を残している。